

平成28年4月7日

No.82

(かんぽれ経営者)

東日本大震災の影響を多くの企業が受けていることと思います。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災から一日でも早く立ち上がることを祈ります。

材料・部品が入らないこと、トヨタ・スズキが製造停止したことにより、仕立量も減少したり、自粛したりして消費も控えたり、イベントが中止したり飲食店やホテルもキャンセルが増え、経済がより低迷しようとする。自粛するところがベストなのではないか。日経トピリーダー4月号編集長の直言に記事とれています。『阪神・淡路大震災発生後、複数の被災企業の社長に取材したことがあります。そのとき彼らは、こう口をそろえました。「自粛なんてやめてほしい。そんな気持ちになれない」と言って被災していない人が消費を控えたり、イベントを中止したりしているけれど、とんとんカネを使って経済を活性化してほしいんだ。パーティーでも宴会でも、やればいい。』リーマンショックから立ち直らない状況で、資金繰りも厳しい中、新たな災難で、売上も減少、より不安な気持ちですが、前に進むしか、方法はないと思います。自分達からやることもやる。毎日元気に行動することだと思います。復興には多大なお金がかかります。経営者として自社の業績を良くする為に苦難に立ち向かい、批判し、頑張るしかありません。利益を出し、税金を納め、貢献するしかないと思います。また、企業範囲内で、義援金を送ったりすることだと思います。

災害への備えが大切ですが、会社として最優先の大事なのは、社員と家族を守ることです。被災を受け営業のペースが落ちても相当の期間給料を払うことができれば社員も安心です。その為の内部留保することが必要です。良い時こそ、お金を貯めることが必要だと思います。お金を貯ることで、利益を出すこと。経営者の使命としてより自覚が必要で、黒字にする執念を持つことだと思います。

高林 幸裕